

03 自然環境

Action

貴重で美しい自然環境を守るために

自然を守ろう!



豊かな自然を守ることの大切さを学ぶ目的で、水生生物観察会やウトナイ湖の漁業体験、探鳥会など6事業を行いました。また、記念植樹祭や花いっぱい運動などにより、緑化に努めました。

水生生物観察会



昨年8月にアルテン内の覚生川で水生生物観察会を開催しました。きれいな水に棲む生物を観察し、美しい自然環境の大切さを学びました。

ウトナイ湖漁業体験



昨年9月にウトナイ湖で漁業体験と湖岸清掃を行いました。自然の豊かさや命の尊さを直接感じ、自然を守る大切さを学びました。

記念植樹祭



昨年5月に高丘森林公園で記念植樹祭を開催しました。約150人の市民が参加し、エゾマツ、トドマツなど約2,400本を植樹しました。

美しい自然環境を体感できるイベントを今後も開催します!ぜひ参加しましょう!

04 環境教育

Action

eco意識を高めるために

地球にイイコとしよう!



環境に関するパネルディスカッションの開催や、CO₂削減出前講座、ごみ収集体験、野生生物とのふれあい講座(いのちの授業)など、環境に良いことを学ぶ6事業を実施しました。

出前講座



CO₂削減行動の推進のため、全町内会を対象に出前講座を開催。400人以上の市民が参加し、削減への取り組み方法を学びました。

ごみ収集体験



ごみの分別や収集への理解のため、仮設のごみステーションを設置して実際に収集作業を行う「ごみ収集体験」を実施しました。

パネルディスカッション



ごみ削減や地球温暖化をテーマに市民と市長が環境問題について議論し、今後の環境問題への取り組みについて考えました。

いのちの授業



市内9校、881人の小学生に、身近にいる野生動物とのふれあいをテーマに、命の尊さを知る「いのちの授業」を開催しました。

今後も積極的に環境教育を進めます!環境に良いことを一緒に学びましょう!

今、できることから始めてみよう!

地球にイイコとしよう!!

今後もエコライフにご協力をお願いします!

ecolife大作戦は期間を1年間に限定し、集中的に環境問題に取り組む事業として展開してきました。しかし、これはきっかけに過ぎません! 私たち一人一人がライフスタイルを見直し、エコ活動を続けなければ、複雑で多様化する環境問題を解決することはできません。身近にできるエコ活動としては、無駄な電気を消す。ごみをきちんと分別する。マイはしやマイバッグを利用するなどがあります。これらは小さな取り組みで、環境問題の解決につながるには実感しづらいかもしれませんが、一人一人の小さな積み重ねが、環境問題解決の第一歩となります。

できることから始めよう!

02 資源環境

Action

資源を有効利用するために

ごみを減量しよう!

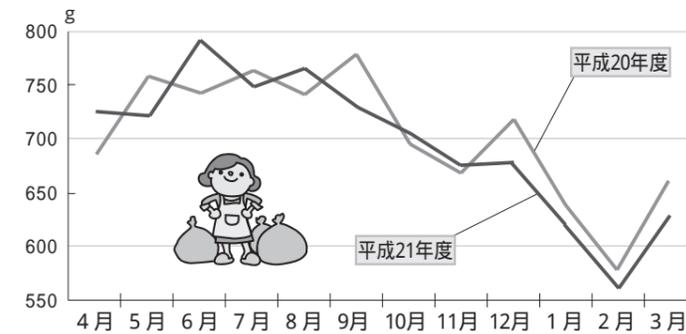


ごみの減量とともに資源を有効に利用するため、1人1日10gのごみ減量を目標に分別方法の啓発、資源リサイクル運動の推進、リサイクルハウスの設置助成、世界の子どもにワクチン運動、古着・古布の回収リサイクル、割りばしのリサイクルなど12の事業を実施しました。

1人1日10gのごみ排出量の削減

ごみ排出量の削減を目指し、ごみ減量の啓発事業を展開しました。無駄なものを買わない、資源を大切にする、分別を徹底するなどごみの減量とリサイクルの推進に向けた取り組みを展開しました。

家庭系ごみ排出量(1人1日)の推移



削減効果(1人1日)

20年度平均 = 704 g

21年度平均 = 698 g

1人1日平均6gのごみ削減!

世界の子どもにワクチン運動



ペットボトルキャップを回収して売却し、発展途上国へのワクチン購入代とする事業を実施しました。

●回収場所

各小・中学校
苫小牧信用金庫各支店
各事業所 など

●回収後は

回収されたキャップは、専門業者により、燃料などにリサイクルされます

●ペットボトルキャップの回収結果

20年度 9,730kg
(ワクチン4,160本分)

21年度 11,200kg
(ワクチン7,831本分)

キャップリサイクルでワクチンを送ろう!

今後も限りある資源を有効に利用し、ごみの減量に努めましょう!

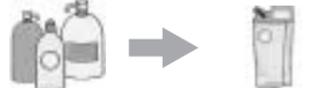
ごみの減量に取り組もう!

レジ袋の購入をやめてマイバッグに!



- マイバッグを持参しよう!
- マイはしを利用しよう!
- 詰め替え商品を使おう!
- 生ごみの水を切ろう!
- 紙ごみは資源回収に出そう!
- 古着・古布は回収拠点に出そう!

シャンプーなどは詰め替えの商品に!



日常生活のちょっとした心がけがごみの減量につながります!

リサイクルハウス設置助成



リサイクルハウス設置助成事業により、集団回収事業を支援し、ごみ減量および資源の有効活用の促進を図りました。

●対象団体(登録団体)

各町内会、学校PTA、幼稚園など

平成21年度は累計11団体に対し、設置費用の一部を助成しました。

●集団回収結果(リサイクルハウスでの実績)

20年度
1,260 5kg

21年度
1,858 5kg

回収された雑誌類は古紙回収業者に引き渡し、再び紙にリサイクルされます。

新聞、雑誌は資源回収に出そう!